教 授　**鈴木　泉**　SUZUKI, Izumi

1. 略歴

1986 年 3 月　東京大学文学部哲学専修課程学士・文学士
1989 年 3 月　東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士・文学修士
1990 年 10 月　東京大学教養学部助手（～1993 年 3 月）
1993 年 4 月　神戸大学文学部助教授（～2006 年 3 月）
2006 年 4 月　東京大学大学院人文社会系研究科准教授
2018 年 4 月　東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

哲学、特に西欧近世哲学と現代フランス哲学

b 研究課題

＜内在性の哲学＞の体系化の作業として次の三つが現在の研究課題である。

1/西洋形而上学の形成史の探求とそれを背景とした＜存在の一義性＞の哲学の系譜学の作業。

2/現代フランスにおける差異哲学の検討。

3/非人間主義（inhumanisme）の哲学の展開。

c 概要と自己評価

上記三つの研究課題をより具体的には次のように遂行している。

1/ドゥンス・スコトゥスからスピノザに至る中世後期から近世にかけての＜存在の一義性＞の系譜学の意義を、とりわけスピノザ哲学に焦点をあてて解明すること。

2/現代における＜内在性の哲学＞の範型＝差異哲学としてのドゥルーズ哲学を解凍し、その意義を現代分析的形而上学や日本語の哲学と突き合わせながら展開すること。

3/限定された存在としての人間とは異なる他のありようへと変容していくことの可能性を肯定する思考としての非人間主義の哲学を、具体的な主題において展開すること。

この二年間においては、1 に関して、とりわけスピノザ哲学の特異な位置づけを、ライプニッツ哲学との関連、ならびにその受容史をもとに解明する作業を行い、単著『スピノザ/ライプニッツ問題』として刊行する準備を集中的に進めてきた。ごく近い時期の脱稿を目指している。さらに、岩波書店から刊行予定の『スピノザ全集』編集委員として、全集刊行の準備を進め、幾つかの著作の翻訳を終え、2021 年度の刊行に向けて、全体の最終的な調整を行っている段階である。また、2 に関しドゥルーズとドゥルーズ&ガタリの思索に関する単著二冊を刊行する準備を進めてきた。こちらに関しても 2021 年に公刊予定である。さらに、3 に関しても単著『非人間主義の哲学』の刊行に向けての執筆を進めてきた。脱稿が遅れていることには不満が残るが、これまでの研究の集大成となる大部の著作の刊行を期したい。

d 主要業績

(1) 論文

鈴木泉、「祈りについて」『ひとおもい』創刊号、東信堂、214-219 頁、2019.7

鈴木泉、「経験の構造を論じることについて――松永哲学をめぐるシンポジウムの余白に――」『経験の構造』哲学雑誌第 133 巻第 806 号、哲学会編、67-84 頁、2019.10

(2) 学会発表

鈴木泉、コメンテーター「Mathias Girel “Reception and Development of Pragmatist Thought in France: Just a Beginning?”に対する特定質問」、アメリカ哲学フォーラム第 5 回大会、神戸大学、2018.6.23

鈴木泉、「《きずな》について私が知っている二、三の事柄」、シンポジウム「宇佐美圭司《きずな》から出発して」提題、東京大学、2018.9.28

鈴木泉、コメンテーター「トマス・カスリス（オハイオ州立大学特別名誉教授）講演へのコメント」、東文研・GJS 共催ワークショップ「東京学派の研究（第３回）：日本哲学と東京大学の哲学」、東京大学東洋文化研究所、2019.1.22

鈴木泉、「『哲学雑誌』のアーカイヴ化を基礎とした近代日本哲学の成立と展開に関する分析的研究」の課題と研究成果」第 36 回日本哲学史フォーラム座談会「日本におけるアカデミズムの哲学史―『哲學雑誌』と『哲學研究』の比較分析」提題、京都大学、2019.4.13

鈴木泉、提題「一つの読解」、アンリ・ベルクソン『コレージュ・ド・フランス講義 1902-1903 年度　時間観念の歴史』書評会、学習院大学、2019.9.6

⑶　啓蒙

鈴木泉、「"活動"する哲学者――哲学者としての井上円了」（吉田善一氏との対談）『井上円了「哲学する心」の軌跡とこれから』講談社、22-25 頁、2019

⑷　予稿・会議録

国内、鈴木泉、「《きずな》について私が知っている二、三の事柄」『シンポジウム「宇佐美圭司《きずな》から出発して」全記録』国立大学法人東京大学、18-24 頁、2019.5

⑸　研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究（B）、鈴木泉、Izumi Suzuki、研究代表者、「『哲学雑誌』のアーカイヴ化を基礎とした近代日本哲学の成立と展開に関する分析的研究」、2018～

3.　主な社会活動

⑴　他機関での講義等

非常勤講師、東京芸術大学、「哲学」、2019.4～2020.3

非常勤講師、東洋大学、「近世哲学演習 IIA・IIB」・「哲学特殊研究 VA・VB」、2019.4～2020.3

講演、「北の岬から非人間主義の哲学について考える」、第 22 回東京大学文学部公開講座・常呂公開講座、2018.10.5

講演、「スピノザ／ライプニッツ問題」、第 10 回東京大学文学部公開講座、東京大学文学部、2019.6.15

⑵　学会

哲学会、理事長、2018.4～

日本哲学会、評議員、2017.5～、理事、2019.5～

スピノザ協会、運営委員、2018.4～

日本ライプニッツ協会、理事、2018.4～2020.3